



2018年2月13日

各 位

会 社 名 nms ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小野 文明
 (コード：2162 東証 JASDAQ)
 問合せ先 コーポレート本部長 河野 寿子
 (TEL：03-5333-1711 (代表))

**平成 30 年 3 月期通期業績予想の修正
 および配当予想の修正（記念配当）に関するお知らせ**

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 29 年 11 月 13 日公表の平成 30 年 3 月期通期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正

(1) 平成 30 年 3 月期通期 連結業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 53,500	百万円 1,200	百万円 1,300	百万円 1,000	円 銭 116.54
今回修正予想 (B)	53,500	1,200	1,400	1,100	(注) 株式分割後 64.10 (注) 株式分割を 考慮しない場合 128.20
増 減 額 (B-A)	—	—	100	100	
増 減 率 (%)	—	—	7.7	10.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	54,581	974	561	493	50.51

(注) 当社は、平成 30 年 3 月 1 日を効力発生日として、普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行う予定です。株式分割につきましては、本日別途開示の「株式分割に関するお知らせ」を参照ください。

(2) 修正の理由

国内外の需要が堅調に推移していることに加え、為替差損についても解消が進み、想定を下回る見込みとなったこと等から、平成 30 年 3 月期通期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の業績予想を修正いたします。

2. 配当予想の修正（上場 10 周年記念配当）

(1) 配当予想修正の理由

当社は、平成 19 年 10 月 25 日に JASDAQ 証券取引所（現 東京証券取引所 JASDAQ スタンダード）に上場して以来、株主の皆様のご支援をいただき、上場 10 周年を迎えることができました。

つきましては、株主の皆様のご支援に感謝の意を表するため、平成 30 年 3 月期の期末配当において、株式分割後の普通株式 1 株につき 1 円の記念配当を実施することといたしました。

これにより、本日別途開示の「株式分割に関するお知らせ」のとおり、普通株式 1 株につき 2 株の割合をもって株式分割することをも併せ、平成 30 年 3 月期の期末配当は、1 株当たり 4 円 50 銭（普通配当 3 円 50 銭、記念配当 1 円 00 銭）となり、平成 29 年 11 月 13 日公表の「平成 30 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載した配当予想を、以下のとおり修正いたします。

なお、本件は、本年 6 月下旬開催予定の第 33 期定時株主総会に付議する予定です。

(2) 修正の内容

		1 株当たり年間配当金		
		第 2 四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (平成 29 年 11 月 13 日発表) ※株式分割前の予想数値			7 円 0 0 銭	7 円 0 0 銭
今 回 予 想	株式分割後		4 円 5 0 銭 (普通配当 3 円 50 銭) (記念配当 1 円 00 銭)	4 円 5 0 銭 (普通配当 3 円 50 銭) (記念配当 1 円 00 銭)
	(注) 株式分割を 考慮しない 場合		9 円 0 0 銭 (普通配当 7 円 00 銭) (記念配当 2 円 00 銭)	9 円 0 0 銭 (普通配当 7 円 00 銭) (記念配当 2 円 00 銭)
		株式分割実施を考慮しない場合、平成 30 年 3 月期の期末配当予想は、1 株当たり 9 円となり、実質 2 円の増配となります。		
当 期 実 績		0 円 0 0 銭		
前 期 実 績 (平成 29 年 3 月期) ※株式分割前の実績数値		0 円 0 0 銭	7 円 0 0 銭 (普通配当 5 円 00 銭) (記念配当 2 円 00 銭)	7 円 0 0 銭 (普通配当 5 円 00 銭) (記念配当 2 円 00 銭)

(注) 株式分割につきましては、本日別途開示の「株式分割に関するお知らせ」を参照ください。

以 上

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいているものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。